

試合番号 : 430		試合会場 : 金沢市総合体育館				観客数 : 1,410				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:12		試合時間 : 02:12		主審 : 増岡 三佳子		副審 : 吉岡 奈々		
PFUブルーキャッツ		通算 7勝 15敗 ポイント: 20		25 第1セット 20		プレステージ・インターナショナルアランマーレ		通算 0勝 22敗 ポイント: 1		
監督コメント	今シーズン最後のホームゲーム、勝利を飾ることができて本当に嬉しく思う。会場の皆様応援が大変大きな力になった。プレステージ・インターナショナルアランマーレの強固なディフェンスに苦しめられ、なかなか得点を奪えず、コントロールして得点できたのは良かったが、雑なプレーで失点している部分もあるので、Vcupに向けて修正していきたい。リーグを通して沢山のご声援、ありがとうございました。			3	24 第2セット 26		1	できることを全力でコート内外で体現しようと臨んだ2戦でした。第1セット、最終戦ということもあり、表に見えない力みから作戦通りに動くことができず、裏で取れなかった。第2セットは、力みが少し取れ、接戦まで持ち込み、局面を取り切ることでできました。第3セットは、相手の作戦にアシストできず、ワンサイドゲームとなりました。第4セットは、最終セットで迎える辛い状況が続きましたが、要所でベテランがやるべきことをやり、デュースまで持ちこむことができました。最終局面を取り切れず悔しい結果となりましたが、全員が最後まで諦めずにボールを追い続けてくれました。レギュラーラウンド、苦しい戦いが続きましたが、どの会場に行っても熱いご声援をくださるShipmateの皆様が私たちの力となっていました。次はVcupとなりますが、プレステージ・インターナショナルアランマーレらしく戦ってまいりますので、応援よろしくお祈りいたします。		
	第1セット、序盤はPFUブルーキャッツが、山下の多彩なトスワークから、瀬戸の連攻、高相、バルデスのアタックで連続ブレイクし、序盤を優位に進める。対するプレステージ・インターナショナルアランマーレは中盤、相手の強烈なアタックへの硬い守りと、前田、木村のアタック、伊藤のサービスエースで追い上げるが、最後PFUはバルデスの豪快なバックアタック、大熊、高相の攻撃、船田のディグでリードを守りきり、このセットを先取した。				25 第3セット 16			第2セット、序盤PFUは大熊、高相の攻撃、アランマーレはメソマチのアタックでサイドアウトが続く。中盤も、PFUはバルデスの力強いアタック、川崎のフェイント、対するアランマーレは木村、メソマチのアタックが光り、互角の展開となる。終盤、アランマーレは岡村のアタック、菅原のフェイントなどで7連続得点しリードを奪い、アランマーレがこのセットを取り返した。		
	第2セット、序盤PFUは瀬戸のサービスエースで相手を崩し、大熊の攻撃、池谷の硬い守りで連続得点が続くリードする。中盤、アランマーレもメソマチ、菅原、岡村を中心とした攻撃で応戦するが、PFUがバルデス、高相のアタックでさらに引き離し、粘り強いレシーブでボールをつなぎ、勢いそのままPFUが、このセットを奪い返した。				26 第4セット 24			第3セット、序盤PFUは高相、バルデスの繰り出した攻撃、アランマーレは菅原、有村の多彩な攻撃などで得点を重ね、互いに一歩も譲らない展開となる。中盤、バルデスのバックアタック、高相のダイレクトアタックで連続ブレイクし勢いに乗ったPFUは、その後もアタックやフェイントで得点を重ねリードを広げる。終盤、アランマーレは柳沢のサービスエースで流れを奪い、岡村のアタックとブロックが光り6連続得点しデュースとなる。最後は接戦の末PFUが、細沼、高相のアタックでアランマーレを振り切り、ホームゲーム最終戦での勝利を収めた。		
	第3セット、序盤PFUは高相、バルデスの繰り出した攻撃、アランマーレは菅原、有村の多彩な攻撃などで得点を重ね、互いに一歩も譲らない展開となる。中盤、バルデスのバックアタック、高相のダイレクトアタックで連続ブレイクし勢いに乗ったPFUは、その後もアタックやフェイントで得点を重ねリードを広げる。終盤、アランマーレは柳沢のサービスエースで流れを奪い、岡村のアタックとブロックが光り6連続得点しデュースとなる。最後は接戦の末PFUが、細沼、高相のアタックでアランマーレを振り切り、ホームゲーム最終戦での勝利を収めた。				25 第5セット			第4セット、序盤は高相、バルデスの繰り出した攻撃、アランマーレは菅原、有村の多彩な攻撃などで得点を重ね、互いに一歩も譲らない展開となる。中盤、バルデスのバックアタック、高相のダイレクトアタックで連続ブレイクし勢いに乗ったPFUは、その後もアタックやフェイントで得点を重ねリードを広げる。終盤、アランマーレは柳沢のサービスエースで流れを奪い、岡村のアタックとブロックが光り6連続得点しデュースとなる。最後は接戦の末PFUが、細沼、高相のアタックでアランマーレを振り切り、ホームゲーム最終戦での勝利を収めた。		
	第4セット、序盤は高相、バルデスの繰り出した攻撃、アランマーレは菅原、有村の多彩な攻撃などで得点を重ね、互いに一歩も譲らない展開となる。中盤、バルデスのバックアタック、高相のダイレクトアタックで連続ブレイクし勢いに乗ったPFUは、その後もアタックやフェイントで得点を重ねリードを広げる。終盤、アランマーレは柳沢のサービスエースで流れを奪い、岡村のアタックとブロックが光り6連続得点しデュースとなる。最後は接戦の末PFUが、細沼、高相のアタックでアランマーレを振り切り、ホームゲーム最終戦での勝利を収めた。									
試合番号 : 431		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,194				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:00		試合時間 : 02:00		主審 : 明井 寿枝		副審 : 弘中 秀治		
岡山シーガルズ		通算 7勝 15敗 ポイント: 21		18 第1セット 25		JTマーヴェラス		通算 22勝 0敗 ポイント: 63		
監督コメント	試合が進むにつれ、技術力の安定がレベルアップしてきたことで、若手選手が多くコートに立つ中、最後の試合にふさわしい内容に近かった。要所でディグのプレーがスタミナ切れしたことが悔やまれる。2日間、多くのファンの皆様を支えられ、チームが元気づけてもらえたことを、試合をやる中で感じられた。リーグを通して、皆様の心温まる応援、誠にありがとうございました。			1	21 第2セット 25		3	本日もたくさんの応援ありがとうございました。V・レギュラーラウンド最終戦を全員で勝ち切れたことは良かったと思います。これも選手たちが目の前の課題から目を背けず、全員で向き合い続け、1戦1戦戦ってこられたからだと思います。そんな選手たちを誇りに思います。この勢いをV・ファイナルラウンドに繋げていけるようにしっかりと準備をして、自分たちがつかみ取りたいものを自分たちで取りきるためにも、全員がさらに団結して戦っていきたくと思います。引き続きJTマーヴェラスへの熱い応援よろしくお祈りいたします。		
	第1セット立ち上がり、JTはサンティアゴの連続ブロック、岡山は小松原のアタックなどで得点するが、JTがドルーズを中心にパワフルな攻撃で徐々にリードを広げる。岡山も持ち味の粘り強いレシーブで応戦するが、JTはドルーズ、林を中心に得点を重ねる。終盤、岡山は宮下好サーブから連続得点するも、JTが逃げ切りセットを先取した。				25 第3セット 23			第2セット、序盤から岡山は中本、佐伯、JTはドルーズ、林を中心に得点し互角の展開が続く。中盤に入り岡山がリズムを掴みリードを奪うが、JTは田中のアタックや和田のサービスエースなどで反撃し、逆転する。終盤に入り、岡山は山城のブロックなどで追い上げを見せるが、JTは林やサンティアゴのアタックなどで得点し、セットを連取した。		
	第2セット、序盤から岡山は中本、佐伯、JTはドルーズ、林を中心に得点し互角の展開が続く。中盤に入り岡山がリズムを掴みリードを奪うが、JTは田中のアタックや和田のサービスエースなどで反撃し、逆転する。終盤に入り、岡山は山城のブロックなどで追い上げを見せるが、JTは林やサンティアゴのアタックなどで得点し、セットを連取した。				23 第4セット 25			第3セット、序盤、岡山は山城、小松原、JTはドルーズ、サンティアゴが得点し、互角の展開が続く。中盤には入りJTがサンティアゴや田中のアタックなどで抜け出しにかかるが、岡山も佐伯の連続得点などで反撃し、更に競り合いが続く。1点を争う展開が最後まで続くが、岡山が粘り強いレシーブからラリーを制し、セットを奪い返した。		
	第3セット、序盤、岡山は山城、小松原、JTはドルーズ、サンティアゴが得点し、互角の展開が続く。中盤には入りJTがサンティアゴや田中のアタックなどで抜け出しにかかるが、岡山も佐伯の連続得点などで反撃し、更に競り合いが続く。1点を争う展開が最後まで続くが、岡山が粘り強いレシーブからラリーを制し、セットを奪い返した。				25 第5セット			第4セット、このセットも序盤から互角の展開が続く。中盤に入りJTが田中のサービスエースから流れを掴み、ドルーズや林のアタックなどで連続得点しリードを奪うが、岡山も山城、中本のアタック、佐伯のサービスエースなどで応戦し、更に競り合いが続く。お互いの好守備に観客が沸く好ゲームとなるが、JTがドルーズを中心に得点しこのセットを奪い勝利。V・レギュラーラウンドを全勝で終えた。		
	第4セット、このセットも序盤から互角の展開が続く。中盤に入りJTが田中のサービスエースから流れを掴み、ドルーズや林のアタックなどで連続得点しリードを奪うが、岡山も山城、中本のアタック、佐伯のサービスエースなどで応戦し、更に競り合いが続く。お互いの好守備に観客が沸く好ゲームとなるが、JTがドルーズを中心に得点しこのセットを奪い勝利。V・レギュラーラウンドを全勝で終えた。									
試合番号 : 432		試合会場 : SAGAアリーナ				観客数 : 4,203				
開始時間 : 13:05		終了時間 : 15:52		試合時間 : 02:47		主審 : 種元 桂子		副審 : 長崎 有紗		
久光スプリングス		通算 18勝 4敗 ポイント: 51		25 第1セット 22		埼玉上尾メディックス		通算 15勝 7敗 ポイント: 45		
監督コメント	まず始めに、粘りある素晴らしいラリーをたくさん繰り広げた両チームの選手を讃えたい。第1セットは、自分たちのいい形を出すことができていたが、第2セット以降、相手に自分たちの攻撃が対応され始めて、苦しい時間帯が続いた。最後まで諦めず、粘り強く戦えたことが今日の勝因だと感じる。佐賀のホームゲームで2連勝できたことは、素直に嬉しく思う。2日間、たくさんの熱い応援ありがとうございました。ファイナルステージでも、皆さまに愛されるチームとして、頑張っていきますので、引き続き応援の方よろしくお祈りいたします。			3	20 第2セット 25		2	レギュラーラウンド最終戦、リーグ戦を通して培ってきた団結力をいかに発揮してくれた素晴らしいゲームでした。無論、結果については悔しいです。しかしながら選手たちが心からバレーボールというゲームを楽しんでいる姿を、九州のバレーボールファンの方や、いつも応援してくださっているメディックスサポーターのみなさまの前でお見せすることができ幸せです。暖かいご声援をありがとうございました。よろしくお祈りいたします。		
	第1セット、序盤から久光はアダムのスパイクと長岡のサーブで試合の流れを掴むが、上尾は佐藤の4連続ポイントなどで応戦。その後一進一退の攻防が続くも、久光・平山のサーブとアダムのスパイクで第1セットを奪う。				28 第3セット 30			第2セット、上尾・黒後と久光・アダムのスパイクで白熱した展開であったが、終盤上尾・黒後のサーブを起点に6連続得点で久光を突き放し、第2セットを奪い返した。		
	第2セット、上尾・黒後と久光・アダムのスパイクで白熱した展開であったが、終盤上尾・黒後のサーブを起点に6連続得点で久光を突き放し、第2セットを奪い返した。				29 第4セット 27			第3セット、序盤から久光が長岡、中島のスパイクとリベロ西村の堅い守りでリードするも、上尾のリブサーバー岩澤のサーブから流れを掴み、仁井田、ロソのスパイクで徐々に巻き返し、デュースの末第3セットを制した。		
	第3セット、序盤から久光が長岡、中島のスパイクとリベロ西村の堅い守りでリードするも、上尾のリブサーバー岩澤のサーブから流れを掴み、仁井田、ロソのスパイクで徐々に巻き返し、デュースの末第3セットを制した。				15 第5セット 6			第4セット、中盤までサイドアウトの応酬となった。終盤久光・長岡のスパイクが要所で決まり、2度目のデュースの末、第4セットの激戦を久光が制した。		
	第4セット、中盤までサイドアウトの応酬となった。終盤久光・長岡のスパイクが要所で決まり、2度目のデュースの末、第4セットの激戦を久光が制した。									
試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
通算 -勝 -敗 ポイント: -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント: -		
監督コメント					第2セット					
					第3セット					
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。